

## 開催決定

### 第36回総会

年に一度の総会が6月28日(土)に開かれる。今回は、会員OBによる講演会も企画されるなど、実行委員会が工夫をこらしている。誘い合わせて出席を! みんながあなたを待っています。(詳細は2ページに)

- 【日時】 6月28日(土曜日)  
14時 受け付け開始  
15時 総会開会  
16時 懇親会開会(18時閉会予定)
- 【会場】 如水会館 千代田区一ツ橋2-1-1  
☎ 03-3261-1102
- 【会費】 一般 8,000円  
学生 無料



- 【交通】 ●神保町 下車歩3分 (都営三田線・新宿線 営団半蔵門線)  
●竹橋 下車歩4分 (営団東西線)

## 旧上田藩主邸の藤 母校へ 帰る!



江戸時代には上田藩主邸だった母校。



植樹祭を終えた細川修校長先生は「この藤で、生徒に歴史の重みを感じてもらえれば」と語っている。

が。あつた。邸は明治2年戸倉町の坂井家に払い下げになった。坂井家ではその後戸倉上山田温泉を興し、この藤は笹屋ホテルの玄関を飾るものとして戸倉に移植された。それから百年。藤は薄紫の花をつけ続け、長い花穂は1メートルを超えることもあったという。

樹齢二百年を越え、近年さすがに衰えが見え枯れ枝が多くなっていったが、樹木医の手によって治療を受け、子株を一本出すまで樹勢を回復した。

坂井家からこの子株を上田高校にお返ししたいという申し出があり、3月末、母校の庭に移植された。

## 平成9年度入試 合格者&進路

## 昨年と比べ 好調!

( )内は現役 平成9年 平成8年

大学合格者数	875(371)	835(286)
国立	142( 83)	126( 57)
公立	23( 15)	20( 9)
私立	710(273)	689(220)
短大合格者数	40( 21)	
国公立	19( 8)	
私立	21( 13)	
専門・各種学校	16( 13)	
就職	2( 2)	

【関東圏の主な大学合格者数】  
筑波9 千葉7 電通大2 東大2 医科歯科1 外語2 学芸8

東工大2 お茶水1 横国4 都立3 都立科技1 横市2 日大41 早大31 明治28 法政28 中央28 専修28 理科20 明治学院17 慶応9 立教8 上智3 北里9 文教11 学習院6 青学13 獨協10 駒沢15 国士14 東海13 帝京12 芝浦9 大東11

平成9年の卒業生の進路は、別表の通りとなり、昨年と比べ好調だった。昨年0だった東大への合格者も2人。筑波大学に9人、新潟に13人が目立ち、東北に5人、千葉に7人が合格した。信州大は32人だった。就職者は、二人とも公務員になった。

## 上履き問題で 自由な論議

最近、さすが上田高校だと話題になっているのが「上履き問題」。上履きで外に出たり、下履きで教室に入ったという現状に職員会が「一喝、四月から統一の上履きを指定すると迫った。」

それを聞いた生徒たちは、はじめは反発ばかりだったが、論議の末、「自分たちで靴の区別を」ということになり、職員会もそれを見守ることになった。

今、生徒たちは学校が用意した木材を使ってのこを春休みに150人の生徒が参加した。こんな形で自由な校風が守られるのは、いい話だ。

# ●第36回総会のご案内●

今回から卒業後何周年という期の方々に実行委員会をお願いすることになり、50、55、60、65期が担当します。

第42期、栗田裕夫氏の講演が予定されるなど、楽しく有意義な総会を目指しています。

## ●● 式次第 ●●

### 第一部 定期総会

会長挨拶／定例議事／講演 (42期 栗田裕夫氏)

### 第二部 懇親会

来賓挨拶／大会実行委員長挨拶／歓迎の辞

セブンイレブン・ジャパン取締役相談役・前社長

### ◆会務報告

平成8年度最後の定例幹事会は、5月8日神田一ツ橋の日本教育会館で行われ、関東同窓会の功労者処遇の件・8年度会務報告、会計報告・9年度会務計画案・9年度予算案を審議し、執行部の原案通り可決した。

主な点は以下の通り

(1) 功労者処遇については、今まで相談役以外については明確な規定がなかったが、今回参与職を設け、会長以外で会に貢献、尽力した人を処遇する事とした。

上記に基づき、前副会長の小木曾 誠氏(48期)と前幹事長の荻原 賢氏(49期)が満場一致で推挙された。

(2) 8年度会務報告

●名簿整理/名簿整理状況は74期まで一応完了し、会員数は1,100名増加し5,524名となった。

75期以降については情報が少なく困難を極めている。会員各位の積極的な関与をお願いする。

●母校へOBの著作を贈る運動について(8ページにあるような方々から寄贈をいただきました)。

### ◆平成9年度会務計画案◆

### 平成8年度 決算報告書案 (8/4.1~9/3.31)

- ①第36回総会開催  
(参加人員250名目標)
- ②会報の発行(年2回)
- ③75期以降の名簿の整備
- ④年会費徴収率の向上
- ⑤運営基金の  
拠出依頼キャンペーン
- ⑥名簿管理の  
パソコン化の検討開始
- ⑦母校への貢献  
(OBの著作を贈る運動の継続)
- ⑧本部及び各支部との  
交流
- ⑨長野県同窓連との交流

収入の部			
科目	予算	決算	差額
前期繰越金	3,997,630	3,997,630	0
大会費収入	1,200,000	1,479,000	279,000
会報広告料	400,000	427,000	27,000
年会費収入	2,300,000	2,485,000	185,000
受取利息	50,000	14,283	-35,717
雑収入(祝儀)	300,000	332,000	32,000
々(会議費)	0	367,000	367,000
(小計)	4,250,000	5,104,283	854,283
合計	8,247,630	9,101,913	854,283

支出の部			
科目	予算	決算	差額
大会費	1,200,000	1,412,996	212,996
会報費	1,400,000	1,650,101	250,101
交通費	0	91,397	91,397
通信費	150,000	188,320	38,320
会議費	500,000	1,275,076	775,076
渉外費	400,000	376,478	-23,522
印刷費	300,000	103,110	-196,890
事務費	300,000	48,305	-251,695
雑費	300,000	86,766	-213,234
(小計)	4,550,000	5,232,549	682,549
次期繰越金	3,697,630	3,869,364	171,734
合計	8,247,630	9,101,913	854,283

平成9年度予算(案)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	3,869,364	大会費	1,500,000
大会費収入	1,500,000	会報費	1,700,000
会報広告料	400,000	交通費	100,000
年会費収入	2,500,000	通信費	150,000
受取利息	30,000	会議費	600,000
雑収入(祝儀)	100,000	渉外費	200,000
々(会議費)	300,000	印刷費	150,000
(小計)	4,830,000	事務費	300,000
		雑費	100,000
		(小計)	4,800,000
		次期繰越	3,899,364
合計	8,699,364	合計	8,699,364

基金特別勘定			
科目	前期繰越	当期	期末残高
運営基金	7,180,000	110,000	7,290,000
同利息	2,324,249	42,813	2,367,062
合計	9,504,249	152,813	9,657,062

一般会計・特別会計総括表			
科目	金額	科目	金額
現金	85,107	運営基金	9,657,062
普通預金	508,344		
郵便振替1	262,590		
郵便振替2	53,770		
定期預金	12,616,615	次期繰越	3,869,364
合計	13,526,426	合計	13,526,426

### ◆来年の総会(第37回)の開催日と会場の決定◆

日時 平成10年7月11日(土) 会場 如水会館(東京・神田・一ツ橋)

# マスコミも注目 一人のOB

今、マスコミの注目を浴びている二人のOBがいる。  
一人は井出孝光氏(61期)。レコード会社のトイズファクトリーの社長である。

この経営は井出氏の戦略による。井出氏は会社を「スモール・アパニー」という。全員が契約社員。給料は年

当たり44億円にもなる。棒制。年に一度更改がある。それを仕切れる社長の才能は並大抵ではない。

もう一人は桜井堅一郎氏(90期)。今春早稲田を卒業してフジや週刊誌で評判だ。



1971年創刊48周年  
トイズファクトリー

テレビに入社した。桜井氏は早大野球部で投手。巨人に入った三沢と同期だ。野球漬けの4年間でアナウンサー試験の準備はしていなかった。だが、その素朴さがいいと、新聞や週刊誌で評判だ。

# 日経エンタテインメント

NIKKEI ENTERTAINMENT

# 50人時代を動かす

●ポストTKの新メロディメーカー出  
●藤石ブームを生み出した意外な  
●三谷幸喜が語る「シナリオのツボ」



# プロ野球 桜井 堅一郎

1957年、80歳。右手上投手。4年生の仁志敏久巨人。最速130km/hの速球と3年には同じ投手で織田淳哉プロシニエスライガー。(巨人)が、プロ野球のフックを投げ分ける。4年間、アナウンサー試験の年間で優勝した。4番手の投手で、中継ぎ、4番手の投手で、早大野球部の4年時、同期の投手は3人いた。巨人や、人前で話す快感を感じる。三沢剛一、もう一人は日本



# 米津福祐氏(53期)が...

## 京王プラザで個展



母校の校門の絵も飾られていた。

二期会委員で上田市在住の米津氏が3月に東京で個展を開いた。これを機に一文を寄せてもらった。

1997年(平成9年)版

1957年、80歳。右手上投手。4年生の仁志敏久巨人。最速130km/hの速球と3年には同じ投手で織田淳哉プロシニエスライガー。(巨人)が、プロ野球のフックを投げ分ける。4年間、アナウンサー試験の年間で優勝した。4番手の投手で、中継ぎ、4番手の投手で、早大野球部の4年時、同期の投手は3人いた。巨人や、人前で話す快感を感じる。三沢剛一、もう一人は日本

東京の一流ホテルロビーのギャラリーで個展をやってみた。これが私の夢の一つだった。理由は、と聞かれ立ち上がり屋だから、かもしれないし、田舎者の都会へのあこがれで、気恥ずかしい気もするが、本気の気持ちだ。

それが思いがけず実現した。花のお江戸といふけれど、12日間の個展中、東京は折しも桜が満開で、少し早起きして散歩すると、街の中で爛漫の桜に

出会いなるほどこれが江戸の桜か、と会う度に頷いたものだった。

個展開催の12日間、中学の仲間が、高校の同級生が、また美術班OBが・・・連日連夜集まり、楽しい新宿の夜の宴が続く、昼は昼で40年50年ぶり、卒業以来という懐かしい友、知人が次々に訪れて下さり、12日間は瞬く間に過ぎて、気がつけば最終日、浦島太郎の心境もかくや。

振り返ると、なんと大勢の方々に会えたことか、なんと沢山のご厚情をいただいたことか。実に昼も夜も刺激的な個展だった。

二期会委員・結婚式場ささや社長

祝!

会報 56 号

57号

- 【1組】市川史生 金子昭彦 塩川邦彦 長坂光登 中村甲治 藤沢行雄 吉池鴻充
- 【2組】大日方昂 久保田修 三井宣夫 笹沢政道
- 【3組】上原清治 近藤勲 田村功 平林昌樹 浜村浩史 柴田義人 春原岑生
- 【4組】平野武明
- 【5組】石黒崇 岡田信男 神津進 小林光政 澤尾明夫 瀬下正利 松井広通 丸山正一
- 【6組】小山莊司 新沼淳雄
- 【7組】岩下宏 内海章緒 北村徹男 小平節夫 横沢俊雄
- 【8組】大久保治夫 河西邦彦 小林英郷 小山邦俊 中村勉 村井弘 横沢康夫 横島庄治 若林克寿 渡辺善国



4月12日の土曜日、「スコンク会」(53期) 4組のクラス会)の有志15人が飯能の山里で掛川康夫君による蕎麦の大賞味会を開いた。

## 手打ち蕎麦 大賞味会

彼が密かに30年来「蕎麦道」に精進してきた腕前を私ども同級生に披露したいということになったのだ。

好天氣に恵まれた



## 会員 短信



当日、界隈の山桜も丁度見頃。宴席として借りた間篠健君の別荘には53期関東女性軍の5人も集まり、それはにぎやかな一日だった。6組の清水厚嗣君から差し入れの信州本場物蕎麦粉をはじめ、青木島の青首大根、孀恋の根深白葱、喜久盛大吟醸などなど、めいめい持ち寄った故郷の薬味、食材も豊富だった。

「平常心」と染め上げた鉢巻で頭をキリリと締めつけた達人掛川兄は私どもの乱痴気騒ぎを上目使い、蕎麦打ち一途な緊張の一日だった。

味はもちろん天晴れ日本一! 本當にご苦労様だった。

**がんばってます!**

### 創造的な旅を企画

(62期 秋田 勇氏)

秋田氏は(株)トラベル・アイの社長だ。旅行に関することなら何でも相談するとよい。きっと、親切に面倒をみてくれる。今、秋田氏は「モンゴルへの旅・8月」を企画し募集している。長野市の国際ジャーナリスト倉島康氏の「飛天隊」と共に遊牧民の生活を体験したり、露天風呂でストレスを解消しようという旅だ。騎馬民族説の写真家三輪見久氏も同行。締め切りは6月24日。問い合わせは☎3442-4381へ。

### 松尾 球友会

1月に総会及び新年会を開いた。地元から荻原部長、津金監督、富岡OB会長をはじめ6名の来席をいただき、総勢34名の会となった。議題は、◎会員の交流及び親睦会への支援◎母校への寄付及び支援◎地元のOB会、行事等への参加、等々。

90期の桜井堅一郎君(早大→フジテレビ)も参加、早大野球部での体験やテレビ局入社のおきさつを語った。アナ志望者は3700名(うち男子は1000名)。うち合格者は4名(男子は1名)。アナとして大切な人に好かれる魅力が評価されたという。放送へのデビュー予定は7月だそうだ。野球部の応援と共に彼の今後の活躍も見守ってほしい。

### リレ-随想 我等の 青春

藤家 衛 (49期)

◆上田市一中出身  
●高校時代は水泳部で活躍。立大でオリンピック候補選手。

毎年8月に水泳部OB総会で母校を訪ねて。古城の門を取り巻く樹々の繁みなど昔のままですべて輝いて見える。上中から松尾高時代この学舎で感情過多で背伸びした青春を謳歌させていたのだ。

その中で禁を犯して自由を貪った時の快感は忘れがたい。遅刻欠席の代返しを合わせたこと、教師への残酷なまでの渾名、机の中の早飯、校外での他校生徒との喧嘩。数々の悪事を重ねたものだ。

それも存在感の主張であり、自分の成長の証であったような気がする。

当時の教師は厳しく大いにお叱りを受けたが、「もう少しうまくやれ!」「他人に決して迷惑をかけるなよ!」暗に励まして大人になることを期待しているようなところがあった。

勉強もやっている振りをおまじ見せずスポーツも楽しかったのびやり、当時としては自由で進取で洒落た校風であったような気がする。

最近同級生や先輩後輩の顔と名前がうろ覚えになってきた。これからは昔の仲間が集まる季節、松尾二十六会や同窓会に大いに参加し、絆を深めるのも生き甲斐であるように思う。



# TOY'S FACTORY

Imaginations are free and fun,  
and excitements more wonderful and much greater.

“発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく”

- Mr. Children
- MY LITTLE LOVER
- SPeeD
- 酒井ミキオ
- EL-MALO
- SOPHIA
- Akiko
- cosa nostra
- cocobat
- HI-STANDARD

株式会社トイズファクトリー  
代表取締役 井出孝光 (第61期)

57期清作会

(七組)  
新年会



恒例の清作会(担任池田清作先生)が一月18日開催された。冒頭、元生徒会長加賀美君から手術ですっかり健康を回復された先生に花束が贈呈された。贈呈の際頭を見た時とちらが先生かわからず、思わず爆笑と拍手が起った。続いて田沢君(鹿島建設勤務)が十年に亘る研究成果が認められ、母校の都立大から工学博士号が授与されたため、先生から花束の贈呈と田沢君から論文の概要説明がなされた。

なお、清作会の博士号授与者は、大塚君、飯島紘栄君の医学博士、杵掛君の文学博士に続く快挙である。この後公私に亘る各人が現況を報告した。最後に9月のゴルフを兼ねた軽井沢で一泊二日を約束し、元応援団長の田沢君の音頭で校歌等を合唱し、散会した。

(参加者) 長野から池田先生、飯島紘栄、小堺明雄、高山美千夫、田中正雄、大阪から土屋典久、関東から飯島辰夫、井出敦之、磯井栄一、大矢常雄、長部繁幸、加賀美欣二郎、小林恒雄、堀入敦夫、清水義央、田沢雄二郎、田中義司、中澤啓二、西尾紀一郎、藤岡擴、堀英毅、宮入英輔、和田富雄、渡辺静雄、渡辺孝幸、清水康弘(清水記)

同期の皆さんへ  
9月のゴルフに参加出来る方は  
清水迄連絡を

会員消息

42期☆小林孝雄「上中ネービー会」(海軍兵学校卒業生の会)を創り定例会を開催。記念事業として第2次世界大戦で戦死された方の偉勲、海軍で活躍された先輩の業績をしのぶ「上中ネービー列伝」を刊行することとし、目下資料を収集中。  
42期☆橋本英典 第2の勤め先出版社交趣会を退職。毎日が日曜日。自宅ではちぼち出版関係の仕事。  
51期☆保坂利勝 62才で自動車免許を取り、上田の病院に見舞いに行つて来ました。高速が開通し2時間50分で走れた。  
51期☆蒲生卓磨 農水省を退職。パキスタンのJICAプロジェクトに関わっています。

◆勤務先変更

52期☆土屋寛寛 (株)青学サービスを退職、青学女短軽井沢寮へ  
53期☆懸川文夫 郵政省を退官、(財)郵政互助会へ。  
53期☆小泉勝夫 神奈川県警を退任、(財)シルクセンター・シルク博物館へ。  
53期☆高野政晴 東大を退官、関西大学へ。  
53期☆須田武久 NBP東京を退職、目下充電中。  
60期☆中垣貴三 山印醸造(株)を退職、(株)山信商事を経営。  
66期☆田口博 フイリップスメデイカルシステムズ(株)に勤務。

計報

お悔やみ申し上げます  
24期 茂木清文氏  
32期 永井義一氏  
40期 丸山英一氏  
50期 宮下芳雄氏  
51期 塩澤慶和氏  
56期 金井七郎氏

住所変更

- 42期 中村智義 立川市錦町3-8-102
- 47期 若林廣一 松戸市高塚新田123-1ニッセイ1-1006
- 48期 松本守弘 横浜市旭区柏町56-1
- 49期 高野郁雄 横浜市金沢区片吹26-23
- 49期 大澤龍樹 逗子市小坪7-13-17
- 50期 工藤俊夫 横浜市保土ヶ谷区今井町312-3新桜ヶ丘団地8-821
- 51期 荒井一男 川崎市高津区末長656-2
- 52期 青木 功 藤沢市城南2-6-16
- 54期 神津勝重 横浜市青葉区荏田北1-17-9
- 56期 飯高盛龍 葛飾区立石5-22-10フォーラム立石408
- 57期 戸塚英雄 北区王子4-28-24
- 57期 白倉憲二 板橋区赤塚5-23-21-301
- 60期 今井勇雄 藤沢市湘南台4-10-1藤和シティホームズ湘南台105
- 64期 野田将弘 世田谷区南烏山3-11-29ラルゴ芦花公園302
- 65期 高畑悟郎 佐倉市春路2-17-10
- 67期 佐藤陽文 新宿区西早稲田3-8-11
- 69期 吉村邦彦 調布市調布ヶ丘3-39-11調布ヶ丘パークホームズ501
- 70期 高橋和江 台東区元浅草4-1-17-1004
- 72期 中村一治 清瀬市竹丘3-2-62-8-203
- 73期 尾台通久 豊島区池袋4-10-7
- 75期 羽田 平 北区豊島1-17-4-201
- 75期 両角 繁 鎌倉市小袋谷2-2-31-208
- 80期 山崎敏夫 安中市梁瀬791-4高風アパートA-5-1
- 81期 中道美佐子 船橋市栄町1-9-1-518
- 81期 児玉俊一 杉並区永福4-25-14フジタ永福社宅403

出席者

80期 清水岳志  
82期 塚田 廉

80期 清水茂夫  
84期 中沢文茂

私達の同窓生、特に若い人達は、どんな生活をしているのだろうか。それは在校生にも参考になるのでは・・・ということで、20台後半から30台前半の同窓生に集まっていた。結果的に、日本の各界で中堅として活躍する同窓生の頼もしい姿を垣間みることとなった。

司会は 53期 堀内忠久 (関東同窓会幹事長)  
61期 井上 剛 (本紙・編集長)



特別企画  
同窓生座談会

▼司会 では、高校時代とその後歩み、今やっていることを順に語っていただきますよ。

▼清水(岳志) 僕はサッカーをやっていただけの高校時代。二浪して早稲田に入り、やっぱりスポーツが好きだったのでベースボールマガジン社に入り2年半いました。やっぱり野球ばかり。それからフリーのライターになり、いま講談社の週刊現代の記者をしています。

▼清水(茂夫) やはりサッカーをやっていました。結構一生懸命。2年の時は県大会新人戦で優勝した。県では敵なしの強さだった。冬の練習に失敗したのか、インターハイには行けなかった。それが悔しい思い出。大学は東大に行き、今度は勝つてやろうと思つて、ポルト部に入り、これもかなり一生懸命やって4年間がんばり、そのため1年余計にやりその後大蔵省に入省。主計局に2年いて米の大学に2年留学、また2年国際機関

のIMFに向、帰国して山口の税務署に1年いき、その後証券取引等監視委員会が今問題になっているような事を調査、今は防衛庁で予算の仕事をしています。

▼塚田 私は剣道部でしたが、けがと少しあまり熱心ではない半分幽霊部員でした。2年浪人して東北大に入り、機械屋を目指して勉強していたが、また遊び気が出てオーストラリアを放浪、1年後学部が上がってからロボットの勉強を始め、今NECで数値制御装置といて、「機械を作るための機械」の制御装置の設計・開発の仕事をしています。

▼中沢 私もやはり剣道部。2年上の兄と一緒にやっていたが、さほど一生懸命ではなかった。でも剣道部は結束が固く、毎年OB会をやっていて毎年出ています。僕等がいた時が一番部員が多く、60人いました。

▼塚田 だから一人二人いなくても分からなかった(笑)。

に行き、さくら銀行に入り、二つぐらい支店をやつて、今さくら投資顧問という会社で、年金の掛け金を給付まで運用する仕事をしています。

▼清水(茂夫) 海外とかは行かないですか。

▼中沢 去年の十月から研修で半年間米国に行つてきました。向こうの投資顧問の会社に。何が一番凄いかつて、上司が、日本では年をとつただけという人が多いのですが、年をとつてもずっと勉強して、しかも能力があつてという人がトップにいるというのにはうらやましかったですね。

ありますので、後は度胸とか勘とかそういうところで何とかかかるといふことになるわけですね。(笑)

▼塚田 清水岳志さんは取材で海外のキャンプとかについて行くということはありませんでした。

▼清水(岳) 僕はあまりありませんでした。でも、野茂を取材したことはありました。ネット裏に入れてもらつて。でも、彼は日本語ですからね。(笑)

バも多くなつています。

▼清水(岳) 僕達は夜はいろんな人と会うのが仕事。またいな所がありますから飲みます。12頃まで寝ていて、2、3時に出社。ライターが終わつてから原稿書いて、飲みに行くのが1時2時という毎日ですね。(笑)

▼司会 清水さん大蔵省の主計局といえば、随分むずかしかったでしょう。

いるんですが、1年2年遊んでも浪人しても別にたいしたことないな、という感じ。むしろ大学も安易に入れる大学に入るのでもなくやりたいことをやるの大学に行けたというのは結果良かったと思います。親には心配かけたかも知れないけど。

▼清水(茂夫) 私は、まだ自分がやりたいことが見つからないというか、色々な所に関心がある段階ですが、何事もその場所での一生懸命やれば面白がるかと思つています。何事もその場で一生懸命やることが大切だと思います。

▼中沢 私は個性。私は銀行の中でも証券の分野はちょっとやってみたくも思つてた。すごく専門的で職人みたいな仕事です。私は、これに向いていると思ふ。だから何が個性に合っているかを見つけているか大切だと思ふ。

# 年会費納入者氏名

◆平成8年11月16日～平成9年3月31日までに納入くださった方々です。(4月1日以降の方は次号に載ります。)

◆氏名の後の数字は、複数年分の会費を平成何年まで納入されているかを示しています。

28期	森山 博司 18	三浦 嘉治 18	竹内 啓爾 16	小林 乾泰 9	羽鳥 昭一 8	山本 哲之 7	関 博明 8
田中 五郎 9	柳沢喜三郎 9	48期	武重 秀雄 10	高野 政晴 9	平野 武明 12	61期	73期
29期	渡辺 久男 13	臼田 誠人 10	田中 久男 8	藤森 善也 8	宮坂 卓 10	堀内 寿美 23	須貝 博 9
岩下美千穂 17	41期	尾山 正徳 12	平林 浩 9	宮川 澄男 10	柳沢 安信 11	宮島 英紀 18	74期
30期	齊藤 義臣 11	唐沢 俊雄 10	宮原 省三 17	村松 厚 8	吉池 鴻充 9	山浦直次郎 12	大場 英昭 9
柳田 茂雄 5	清水 栄一 12	熊川 次男 9	室賀超八郎 9	山岸 善雄 11	57期	由井 崇 12	清水 直人 8
31期	白鳥 武 13	児玉 和男 13	山田 秀昭 8	54期	加賀美欣二郎 8	62期	75期
赤沼 進吾 16	中沢 全一 9	小林啓之助 15	山辺 孔一 11	小川 広 12	清水 康弘 10	浅井 保雄 9	小林 正宏 9
松島 三男 14	42期	酒井 寛文 11	山辺 文雄 9	小林 勝利 17	白倉 憲二 9	有光 忠夫 11	76期
32期	折田 義雄 16	清水 雄司 10	渡辺 一男 8	竹内 節 12	鈴木 芳枝 11	栗山 正雄 10	堀籠 秀直 8
芹沢 守利 12	丸山 仁志 9	下村 雅雄 8	渡辺 洋一 16	千村 一平 9	滝沢 文雄 8	齊藤 実敏 6	78期
林 重夫 11	六川 英夫 10	高柳 直樹 11	51期	星野 賀永 8	戸塚 英雄 10	藤田 格 8	渡辺 博 8
33期	渡辺 忠良 8	竹内 恵三 9	浅野井 哲 14	丸山 俊二 15	中島 順造 9	松山 武 10	80期
朝日 仁一 9	43期	田原 敬 10	荒井 一男 9	柳沢 明 8	箱山 甕 20	依田欣五郎 13	山崎 敏夫 8
鈴木 真二 10	梅田 實 10	中沢 清男 11	荒井 信明 8	山崎 茂幸 9	畑 勳 12	64期	81期
34期	小笠原義道 8	峯村 千徳 20	白田 稔 9	横沢 武典 13	宮下 広勝 9	中西 載慶 13	児玉 俊一 8
土屋 信夫 14	平林 直 10	宮山 栄二 12	内久根孝一 9	55期	柳沢 孝 8	中村 豊 10	中道美佐子 8
35期	保刈 大治 18	山極 喜郎 13	蒲生 卓磨 7	荒井 恒雄 9	渡辺 静雄 8	野田 将弘 9	82期
石井 暢 22	44-5期	吉村 功 8	倉沢 直哉 12	有賀 文昭 9	58期	65期	清水るりこ 8
宇野 智 7	古平 照男 10	49期	児島 和人 7	荻原 光夫 12	井沢 敬 16	上原 昇 9	(以上255名)
塩入 重夫 4	篠原 保 9	芦田 純 11	清水 直衛 9	片岡 恒夫 8	大日向寛敏 11	内堀 信 8	
36期	武井 国憲 15	雨池 昇 7	保坂 利勝 9	坂口 守夫 12	沓掛 正一 13	高畑 悟郎 8	【運営基金
神野 勝男 11	中島 和夫 13	井出 昭 8	村田 寛 10	田玉 尚武 7	小山 太郎 10	馬場 和幸 12	拠出者名】
田中 良夫 9	44-4期	鈴木 武夫 9	山本 晏久 10	鶴見 貞夫 18	関 順一 13	66期	39期 菊池 博
松野 正 12	金子 健 18	高野 郁雄 9	六川 二郎 11	和田 守 13	手塚 洋兵 9	駒津 敏洋 8	1万円
武捨 久男 11	児玉 志郎 12	竹重 信幸 9	六川 博輔 17	56期	宮原 清明 8	67期	50期 興水朝治
37期	手塚栄三郎 9	田中 達夫 8	52期	上原 清治 10	宮本 忠昭 18	滝野 秀雄 6	1万円
新井 邦夫 13	中村 強 10	前田 芳造 10	青木 功 17	内海 章緒 12	山辺 光一 12	長井 久二 8	56期 大日方昂
岩田 茂樹 11	萩原 隆 9	町田 健一 9	飯塚 和男 15	大日方 昂 8	59期	68期	1万円
小山 敏雄 9	山本 勝 9	松岡 秀夫 9	稲垣 正武 10	河西 邦彦 9	有賀 勝雄 10	杉本真理子 8	60期 中垣貫三
坂本 史郎 10	46期	松本 初男 16	掛川十次郎 10	風間 英信 12	荻原 清人 12	宮川 俊春 10	1万円
原田 安雄 8	相沢 忠一 8	母袋 洋三 11	川嶋 慎 10	柏木 進 8	小林 義典 8	72期 小宮山	修邦
38期	伊藤 茂久 14	柳沢 俊郎 12	甲田 広行 15	神津 進 14	清水 紀男 8	尾立 孝司 12	1万円
由井 虎史 27	神林 常規 13	50期	小林 孝典 17	沢尾 明夫 8	関根 克郎 9	栃原 重文 19	(基金累計
39期	関 和夫 6	石井 一郎 19	高松 健治 11	白井 利彦 9	水出 清仁 9	吉村 邦彦 11	729万円)
菊池 博 14	滝沢 敦美 9	上原 健一 10	滝沢 利明 7	竹内 仁 10	60期	70期	
竹中 幸彦 11	吉村 賢治 10	大塚 文芳 8	水出 康雄 13	長崎 哲夫 6	今井 勇雄 12	安藤 哲 12	
牧内 正志 7	47期	興水 朝治 9	森 浩一 16	成田 邦夫 10	北原 英孝 14	72期	
40期	小山 邦明 10	小林 泰三 9	53期	新沼 敦雄 8	沓掛 行徳 9	気田 夏子 8	
児玉 安彦 16	田沢 徹 9	小山洋之助 24	懸川 文夫 12	西島 幹夫 7	田中 誠一 8	小宮山俊邦 11	
長谷川和音 8	丸山 栄一 18	清水 正晴 10	柏村 孝行 6	芳賀 体道 8	中垣 貫三 8	渋谷 紀久 6	

◆年会費の納入にご協力ください◆ 現在、振り込み口座は口座番号00100-1-568921一つです。これ以外の口座は廃止致しましたので、用紙をお持ちの方は廃棄してください。



真言宗豊山派

東京都No.1の規模を誇るぼたん園の寺

高勝寺

副住職 池田教範 (57期)

〒206 東京都稲城市坂浜551

電話 0423-31-1303



この度、陶芸とデザインの教室を始めました。初めての方も技術をマスターできるようお手伝いします。あなたのオリジナル作品を作ってください。

62期 松井 由美

〒166 杉並区阿佐ヶ谷南1-14-5  
栄ビル2F

☎ & FAX 3316-3960 地下鉄南阿佐ヶ谷下車



プロ野球に  
この人あり！  
セ・リーグの名物審判  
49期 丸山 博さん



戦後の教育改革で上田中学が上田松尾高校に変わる時の卒業生。還暦はどうに越しているはずだが、十歳は若く映る。鍛え抜かれたプロ野球選手に伍して、身体を張ってグラウンドを駆けめぐり、セーフやアウトを見極め、判定してきたためだ。「原町の文房具やの五男坊。クラス対抗で野球部にスカウトされ、二つ上の兄とともどもマネジャーを務めました。物資が乏しい時代。先生の目を盗み、授業中にボールを縫った記憶

があります。」  
兄二人が慶応に進学した（へ波）で大学は諦め、家業を手伝うこと六年余。朝鮮動乱が過ぎ世の中も安定に向かいだした頃、再び向学の志に捉えられる。「しかし、もう勉強はできませんでした。そこにたまたまプロ野球の審判募集の広告が出た。これだと思いました。やはり野球が好きでしたからね」

転機だった。履歴書片手に甲子園でテスト。応募者70人中から選ばれた二人のうちの一に残った。昭和32年のことだった。

採用後二年間連盟の関西支部に所属、ウエスタンリーグで腕を磨き、昭和34年に一軍昇格、東京の赤羽に移住した。「最初の公式戦は後楽園の国鉄―中日戦。ライトの線審としてのスタートでした」

以来、平成元年に現役を退くまで審判を務めた試合は三五二試合。歴代四位の多きにのぼる。「グラウンドで心掛けたことは、選手や監督に絶対見くびられないということ。相手を見て抗議してくる。ノーと言ったら最後までノーを貫くんです」

この姿勢は、三原、水原といった大監督から金田、江夏といった球界を代表する猛者の前でも変わらなかった。ついたあだ名が「意地っ張りの丸」。信州人上田人の面目躍如である。平成元年に現役を引退したが、連盟の審判総務として連日ネット裏で目を光らせている。「審判の審判」である。

「最初の公式戦は後楽園の国鉄―中日戦。ライトの線審としてのスタートでした」

OBの著作  
贈呈図書ご紹介

2ページの会務報告にある「OBの著作を母校に贈る運動」に賛同して、以下の本が事務局に送られてきました。ありがとうございました。

- 「郷友の散歩道」 中村礼三 (32期)
- 「ジャンヌ・ダルクとその時代」他2冊 清水正晴 (50期)
- 「母の聲」 真岩庸元 (52期)
- 「英国流リーダーの育て方」 小山堯志 (52期)
- 「蚕糸の知識と活用」 小泉勝夫 (53期)
- 「国際ホテルマンのユーモア文化講座」 藤村延魚 (54期)
- 「いびきは体の危険信号」 石塚洋一 (59期)

事務局日誌

- 1月19日 球友会新年会出席
- 1月12日 長野県高校同窓会東京連合会新年会出席
- 2月12日 57号編集フォーラム・幹事新年会(執行部11名・幹事50名)
- 2月22日 東信地区高校同窓会東京連合会新年会出席

編集後記

上田市立東小学校の6年3組の竹花広子先生と児童が上田・小島の伝説を調べてまとめて、本にした。「太郎山の天狗」「国分寺の鐘」「太郎山のつっじ」……とおもしろそうな話が続く。



伝説といえは、わが母校にも「太郎山にぬける井戸」の伝説などがある。しかし、定説はまだない。巻会長は「普講堂の下に井戸があった。そこに石を投ずると、大分経ってから音がした」と言われる。「学校の怪談」という映画が今年も上映される。学校の七不思議など、昔をご存じの方の寄稿をはじめ会員短信など、自由な寄稿をお待ちしています。(原稿は…鎌倉市今泉台7-24-5 井上 剛へ)

編集長 井上 剛 61  
副編集長 小山 莊司 56  
小林 秀芳 60

各組代表幹事

- 1組 有井 毅 5組 神田 昇
- 2組 桜井 一彦 6組 小島 渉
- 3組 松木 功 7組 清水 康弘
- 4組 桑原 恒雄 8組 中沢 拓生

祝! 57期 会報57号

57期同期会のご案内

平成9年9月19日(金) 地元で昼間ゴルフ、夜懇親会。詳細は後日連絡。大勢の参加をお待ちしています。